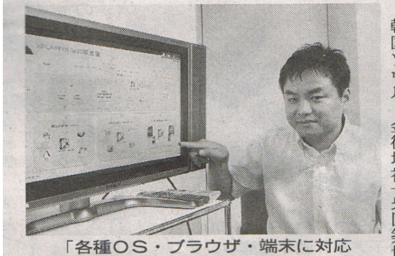
平成23年7月14日　日刊電波新聞　第15710号掲載

第15710号
日刊
電波新聞
発行所　電波新聞社

トゥービーソフト

PC用とモバイル用アプリ同時開発可能

REA向けユーザーインターフェイス　開発ツール発売



「各種OS・ブラウザ・端末に対応する開発ツールを使う時代」と強調する崔支社長

トゥービーソフト（本社＝韓国ソウル、金衡坤社長）の日本支社（東京都中央区築地4、崔彰桓支社長）は、韓国で主流のRIA（リッチ・インターネット・アプリケーション）用で、REA（リッチ・エンタープライズ・アプリケーション）向けユーザーインターフェイスを開発するツールソフト〝XPLATFORM〟の日本での発売を開始した。

このツールは、ウインドウズやリナックスなどの各種OS、エクスプローラやサファリなどの各種ブラウザ、アンドロイドやiOSなどを搭載したスマート端末全域に対応できる機能を持つ。「これからのサービスは、端末を選ばず提供しなければ受け入れられない時代を迎えた」と崔支社長。

「同じソースで、PC用とモバイル用アプリが同時に開発でき、構築時のコストも開発時間も大幅に削減可能。ユーザビリティのあるソフトウエア開発に注力できる」と強調。タブレット型端末も加わり、ICT分野の進化スピードは加速すると崔支社長はみており、「パートナーとともに、世界に売れる製品を開発していきたい」と話している。

同ソフトは、モバイルコンピューティング推進コンソーシアム（MCPC）が、15日に東京で開くイベント〝イノベーションチャレンジ〟で発表される。

億円。「アジアの比率は10%。日本市場は、伸長の可能性が高い」（永久社長）としている。

TOBESOFT

http://www.tobesoft.jp/